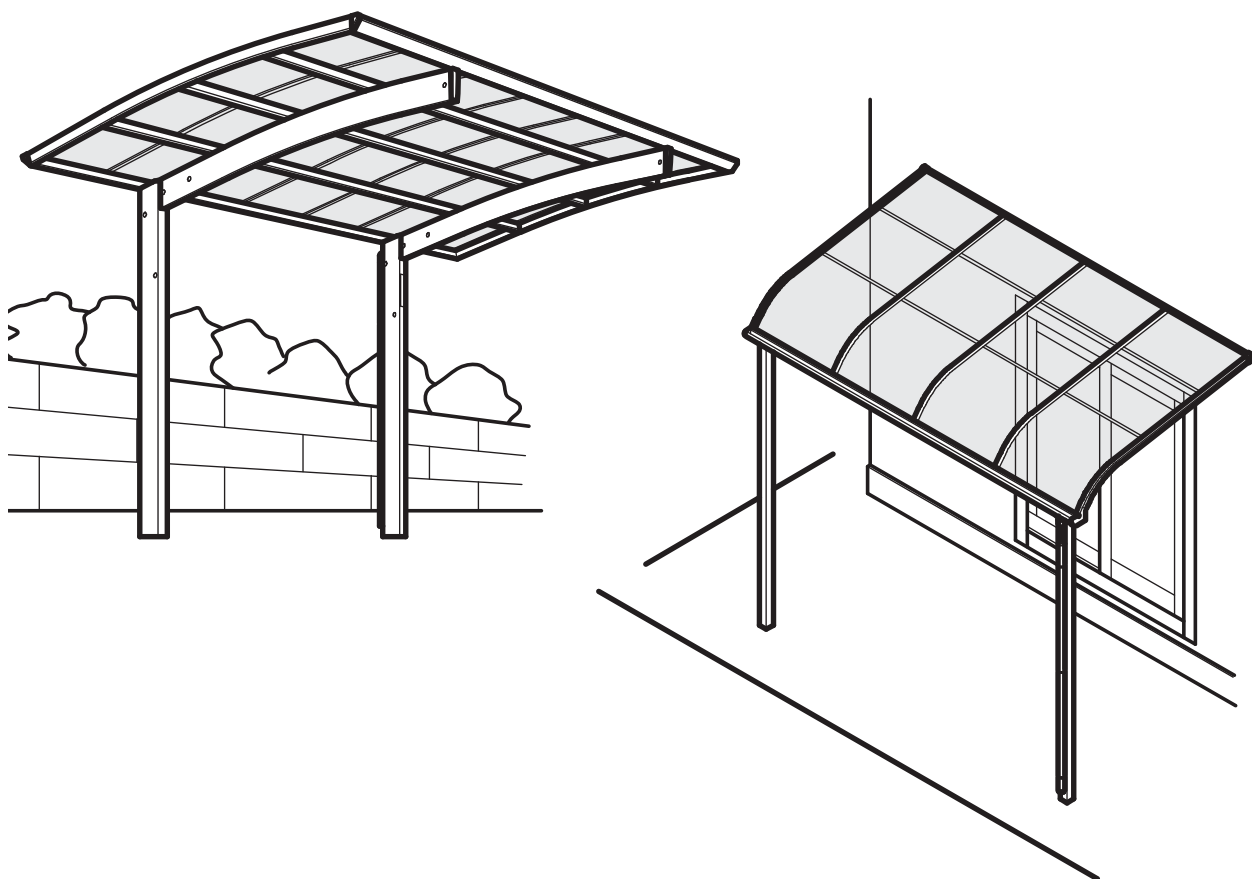


# 取扱説明書

## アルミニウム合金製 テラス屋根・カーポート・サイクルポート



この商品を長く安全にご使用いただくために、正しい操作方法・適切なお手入れ方法・使用上の注意点・商品保証などを掲載しています。

説明をよくお読みいただき、お買い上げ日の記載された領収書などと共に大切に保管してください。

お施主様用

**保存版**

**施工される皆様へ**

この説明書は施工完了後、お施主様へお渡しください。

## ご愛用者の皆様へ

このたびは、当社商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
ごぞいます。




本取扱説明書は商品を長く安全にご使用いただくために、正しい使用方法と適切なお手入れ方法を主な掲載内容とし、また日常のご使用中で注意を払っていただきたいことも併せて掲載しています。

また、商品についている注意ラベルは取らないでください。


### ■ 安全にお使いいただくために

#### ● 安全に関する表示について

ここに掲載したお願い事項は、人身事故や財産上の損害を未然に防止するために、守っていただきたいことを示しています。本文中で安全に関する重要な注意事項には下のような表示をしています。内容をよく理解して、本文をお読みください。

表 示	意 味
	取扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示します。
	「してはいけないこと」を示します。
	「必ず行っていただくこと」を示します。

その他の表示

	「ご使用前に読んでいただきたいこと」を示します。
---	--------------------------

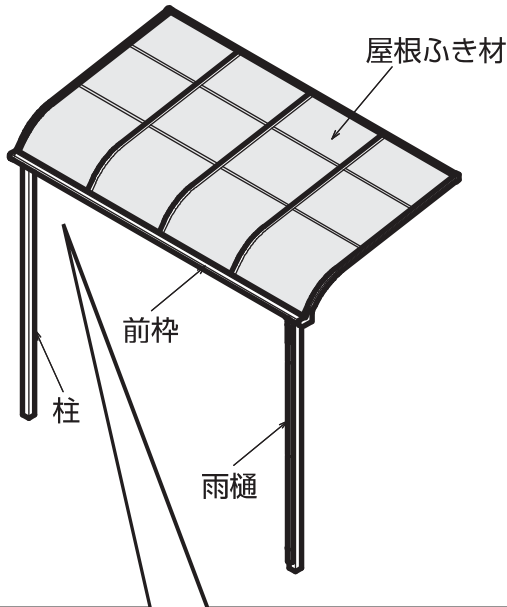
## 目次

安全にお使いいただくために	
商品を正しくお使いいただくために -----	1～3
保守点検について -----	4
雨樋部の清掃方法 -----	4
お手入れ方法 -----	5
知っていただきたい現象と対策 -----	6・7
困った時のQ&A -----	8
商品保証について -----	9

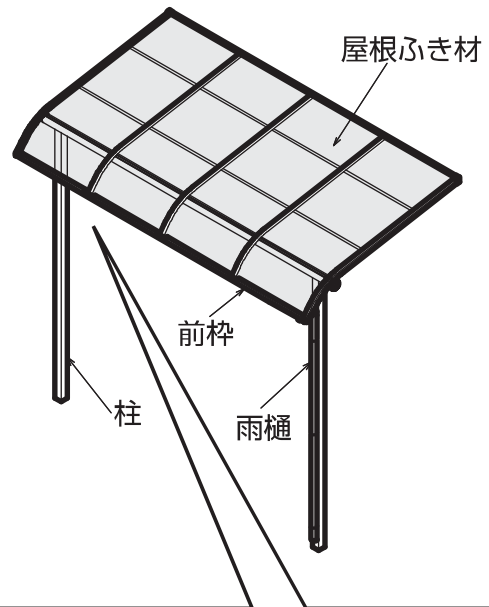
## テラス屋根

### ■各部の名称

柱標準タイプ



柱奥行移動タイプ

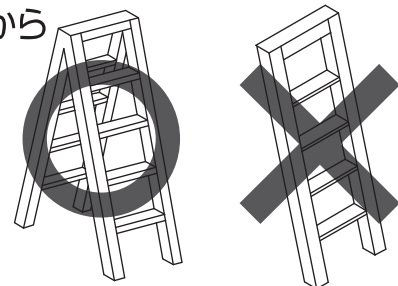


前枠の内観右側に積雪に関する注意ラベルが貼付されています。

**注意** 倒壊防止のため、積雪 20cm をこえるまえに雪をおろしこえた場合は、製品の下に入らないでください

### ⚠ 注意

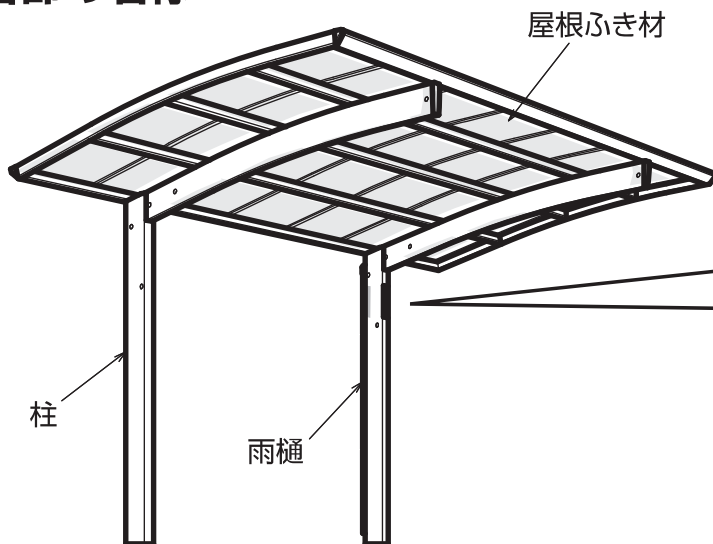
- ❗ 積雪が下記の量を超える前に雪おろしをしてください。商品が破損するおそれがあります。
  - ・積雪～20cm地域用 → 20cm
  - ・積雪～50cm地域用 → 50cm湿った雪や降雨後の雪の場合、早めに雪おろしを行ってください。
- ⊘ 雪おろしの際には、はしごを使用しないでください。落下事故につながるおそれがあります。  
※脚立か踏み台を安定した場所に設置してから雪おろししてください。



## 2 商品を正しくお使いいただくために

### カーポート サイクルポート

#### ■各部の名称

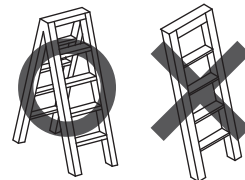


柱に積雪に関する注意ラベルが貼付されています。

**△注意**  
倒壊防止のため、積雪20cmをこえるまえに雪をおろし、こえた場合は、製品の下の入らないでください。

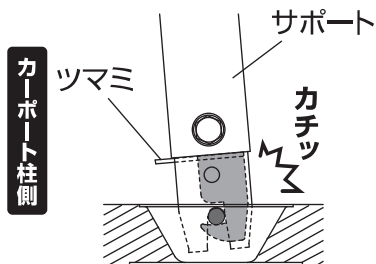
#### ⚠ 注意

- ❗ 積雪が20cmを超える前に雪おろしをしてください。商品が破損するおそれがあります。湿った雪や降雨後の雪の場合、早めに雪おろしを行ってください。
- ⊘ 雪おろしの際には、はしごを使用しないでください。落下事故につながるおそれがあります。  
※脚立か踏み台を安定した場所に設置してから雪おろししてください。



(片側支持タイプ 別売品着脱式サポートをご使用の場合)

- ❗ 強風や積雪の際は、サポートをご使用ください。サポートをセットしないと、商品が破損するおそれがあります。
- ❗ サポートが確実に取り付いていることを確認してください。

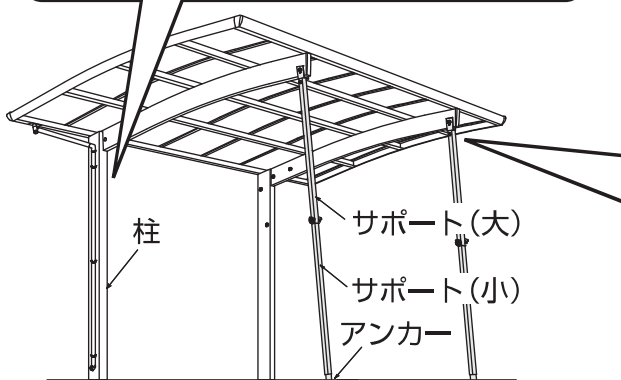
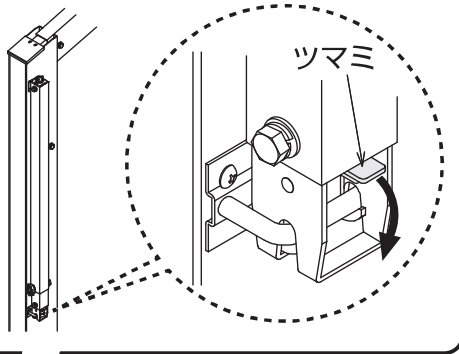


## ■ 着脱式サポート(別売品)の操作方法

### セット方法

#### ① 着脱式サポートの取りはずし

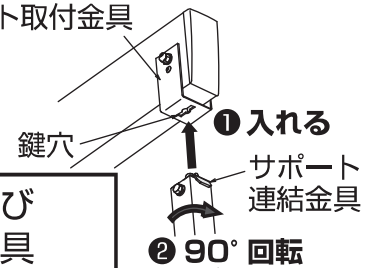
ツマミを下げ、取りはずしてください。



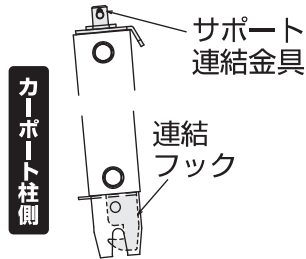
#### ② サポート連結金具の取付

- ① サポート取付金具の鍵穴に入れてください。
- ② 90°回転させて固定してください。

サポート取付金具

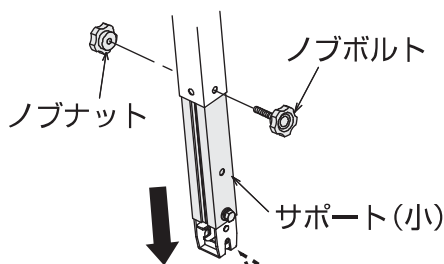


連結フックおよびサポート連結金具の向きに注意してください。

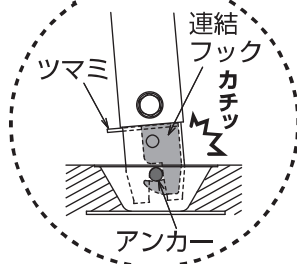


#### ③ 着脱式サポートの取付

- ① ノブボルト・ナットをはずして、サポート(小)を伸ばしてください。

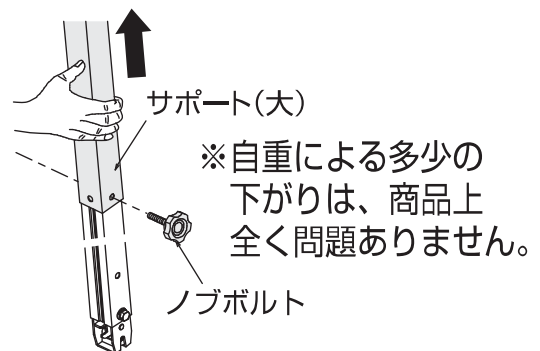


- ② 連結フックをアンカーにかけてください。



- ③ ノブボルト・ナットを取付けてください。

自重により屋根部が下がり、ノブボルトが挿入しづらい場合は、サポート(大)を持ち上げながら挿入してください。



### 収納方法

セット方法の逆の手順で行ってください。

## 4 保守点検について / 雨樋部の清掃方法

### ■保守点検について

長期間、製品をご使用になりますと、いろいろな不具合が発生します。そのままにしておきますと、人身事故や家財の損害などの原因になります。そうなる前に、保守点検をお願いします。下記の項目についてお手入れの時に点検してください。

特に、エクステリア商品は、風雨にさらされておりますので、台風や暴風雨後の点検をお願いします。もし、不具合がありましたら、まず当社にご相談ください。また点検の際、雨樋部のゴミや落ち葉などをきれいに清掃しておきましょう。ゴミや落ち葉などが詰まっていますと雨水が雨樋部よりあふれ出ることがあります。

(清掃方法は、雨樋部の清掃方法をご覧ください。)

#### 点検項目

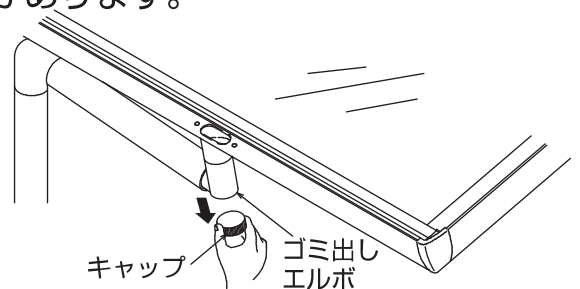
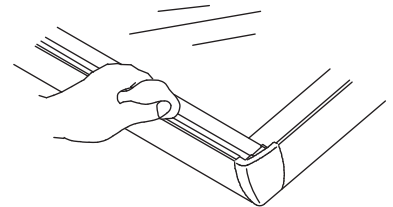
- ・商品のねじ部分がはずれたり、ゆるんでいないか。
- ・商品の各部分が腐食・変形・破損していないか。
- ・屋根ふき材がはずれていないか。
- ・屋根ふき材が破損していないか。
- ・商品に付いている端部キャップがはずれていないか。

### ■雨樋部の清掃方法

台風や暴風雨の後や秋の木枯らしが吹いた後など、カーポート・サイクルポートの後枠やテラス屋根の前枠にゴミや落ち葉などがつまって雨樋をふさいでしまい、思わぬ所から雨水があふれでてくる可能性があります。

下記の方法で清掃を行ってください。

- ① 雨水の通る後枠(前枠)は、高所にありますので、脚立か踏み台をご用意ください。
- ② 安全のため手袋をはめ、脚立か踏み台を安定した場所に立ててください。脚立か踏み台を使用する際は、それぞれの取扱説明書の内容をご理解のうえご使用願います。
- ③ 最初に、後枠(前枠)の中の落ち葉などの大きいものを取り除いてください。取り除く際、割り箸を使用すると細かい所まで取ることができます。
- ④ 雨樋への落ち口(ドレン)のゴミも必ず取り除いてください。ここを取り除かないと、水がたまり思わぬところから雨漏りが発生することがあります。
- ⑤ ゴミ出しエルボの付いているものは、ゴミ出しエルボの下のキャップを回し、キャップをあけて、ゴミを取り出してください。キャップをあける際、水が出る可能性がありますので、十分注意してあけてください。



## ■お手入れ方法

商品を大切に長く使うために、商品の材質に応じた方法で定期的にお手入れすることが大切です。

お手入れしないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、しみや腐食の原因となってしまいます。汚れが軽いうちにお手入れしていただくことが商品を長持ちさせる最良の方法です。

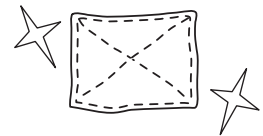
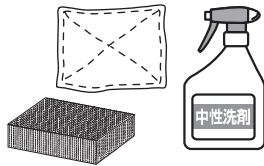
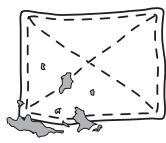
清掃の目安は、少なくとも年に1～2回程度です。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食が進みやすいのでさらにこまめにお手入れしてください。



金属タワシや毛の硬いカメノコタワシなどは傷つきやすいので、絶対に使用しないでください。シンナー、ベンジン、アセトンなどの溶剤は使用しないでください。また、塩素系薬品（漂白剤、カビ取り剤など）は絶対に使用しないでください。



## ●アルミ製商品



① 柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。

② 柔らかい布またはスポンジで全体を水拭きをします。  
※水拭きで落ちない場合は、中性洗剤を使い軽く洗い流します。

③ 乾いた布で、十分に水分を拭き取ってください。

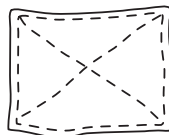
## ●ポリカーボネート板



- 有機溶剤を含む、ガラスクリーナーは絶対に使用しないでください。ひび割れが発生するおそれがあります。
- 古くなったポリカーボネート板は早めに交換してください。強風・積雪・衝撃で破損しやすくなります。

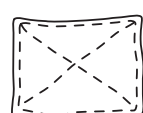
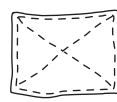
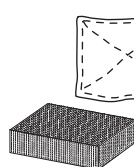
### 汚れが軽い場合

水拭きか、柔らかい布に水を浸し、軽く拭き取ってください。



### 汚れがひどい場合

中性洗剤の水溶液を含ませたスポンジ、または柔らかい布で拭き取り、十分に水拭きをしてください。



## 6 知っていただきたい現象とその対策

日常生活の中で「何かおかしいな・・・」と感じる現象が発生することがありますが、商品などの不具合ではなく、商品の特性に関連して発生する場合があります。お住まいの中で発生する可能性のある現象について、商品の特性を踏まえて説明しておりますので、暮らしにお役立てください。

### **排気ガス接触腐食(給湯器からの排気ガスによる腐食)**

表面異常の多くは、ガス給湯器からの排気ガスが原因となっています。

排気中に、微量ながら硫黄分が含まれている場合があります。これが空気中や排気中の水分と化学反応を起こして、亜硫酸、硫酸のような腐食性の酸を作ります。これらの酸が、塗膜表面に付着→滞留し、塗膜自体を劣化させたり、塗膜の微細孔などから塗膜-皮下膜界面に侵入し、化学反応を起こすことによって、塗膜の密着を阻害します。

また、排気口の近辺で長期間にわたって繰り返される高温高湿と常温常湿のサイクルは、原因となる酸を濃縮させたり、化学反応を促進させるため、異常の発生を早めます。給湯器および車の排気が直接アルミに当たらないようにご注意ください。

また、直接ではなくても、周辺の通気が悪く、排気が滞留するような場所にアルミを使用した場合でも表面異常が発生する場合があります。

**排気口近辺にアルミを使用する場合は、排気ガスが直接当たらないようにしていただくか、こまめにお手入れしていただくとともに周辺の通気を確認した上でご使用をお願いいたします。**

### **風について**

風の強さ、吹き方は住宅の立地条件(山の高い場所に建っているなど)により異なります。また、風速とは10分間の平均風速を指し、瞬間風速は0.25秒間の風速を指します。

**風の吹き方は絶えず変動し、瞬間的な強い風などで商品が飛ばされる場合があります。**完全に防ぐことは出来ませんが、こまめに保守点検をしていただきませうよう宜しくお願いいたします。

#### **【参考】**

- |       |          |        |               |
|-------|----------|--------|---------------|
| ●平均風速 | 10~15m/秒 | やや強い風  | 不完全な看板が飛ば     |
| ●平均風速 | 20~30m/秒 | 非常に強い風 | 鋼製シャッターが壊れる   |
| ●平均風速 | 30~ m/秒  | 猛烈な風   | 屋根が飛ば・木造住宅が全壊 |

気象庁ホームページ「風の強さと吹き方」より抜粋



## 雪の種類について

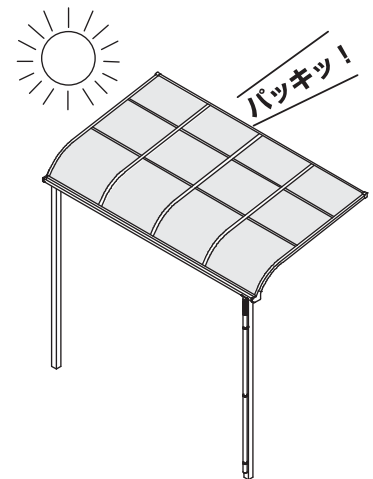
雪おろしの目安の積雪量であっても商品が破損する場合があります。雪の重さは積雪量1cmあたり3kgf/m<sup>2</sup>で計算しますが、雪の状態により大きく変化します。**湿雪や降雨後の雪は、新雪時に比べ約3倍の重さ**になります。積雪については下記資料を参考に雪の種類に従い早めの雪おろしをお願いいたします。

### 【参考】

●新雪	1cmあたり	3.0kgf/m <sup>2</sup>
●しまり雪	1cmあたり	5.0kgf/m <sup>2</sup>
●ざらめ雪（氷のつぶのようにざらざらした雪）	1cmあたり	7.0kgf/m <sup>2</sup>

## 屋根材の音鳴り現象

テラス屋根・カーポート・サイクルポートは、屋外に取り付けられています。屋根材は、とくに太陽光を直接受けて、屋根ふき材が熱により膨張し、膨れたりこすれて異音が発生することがまれにあります。これは、必ず起こる現象ではなく、気温、立地条件、季節、使用材料などにより起きるもので不可抗力現象であり、商品の不具合によるものではありませんことをご了承ください。また、熱によつての膨れや異音は、日が陰ったりすれば自然に治まります。



## 薬剤散布について

外装塗装や薬剤散布を行う場合は、その塗料や薬剤が屋根ふき材や本体に付着しないようにしてください。特に、屋根ふき材に付いた場合は、ひび割れなどの原因となります。もし塗料や薬剤が付いてしまった場合は、なるべく早くふき取ってください。

# 8 困った時の Q&A

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
アルミ商品表面などにつぶ状の汚れが浮き出てきた。	商品にゴミなどがついている。	清掃をしてください。 本書P.5をご参照ください。  まず、当社に修理依頼をしてください。 日常のお手入れについては本書P.5を、排気ガスについては本書P.6をご参照ください。
	ハウスクリーニング時に中性洗剤以外の洗剤により洗浄が行われた、またはその洗剤がついて商品が腐食した。	
	窓・ドア枠まわりの外壁、土間などに塩分の多い海砂の混入したモルタルが使用されていたため、商品が腐食した。	
	交通量の多い道路沿いのため排気ガスにより商品が腐食した。	
	ガス給湯器の排気ガスにより商品が腐食した。	
	海岸地帯のため、空気中に含まれる塩分がついたりして商品が腐食した。	
	工業地帯のため、大気中に含まれる腐食を誘発する成分がついたりして商品が腐食した。	
寒冷地のため、凍結防止剤や融雪剤に含まれる塩分によって商品が腐食した。		
樋部分から雨水があふれている。	ゴミ、落ち葉などの異物による雨樋のつまり。	清掃をしてください。 樋の清掃方法については、本書P.4をご参照ください。
屋根ふき材が不透明化している。 ひび割れている。	屋根ふき材の経年劣化。または、有機溶剤を含むガラスクリーナー、殺虫剤の使用、建物の外壁塗装などによる劣化の促進。	当社に修理依頼をしてください。
屋根ふき材が割れている。	積雪時の電線や木枝に付着した氷雪の落下。	
	強風時の飛来物。	
屋根ふき材がばたついている。	屋根ふき材押えの取付け不良、ねじのゆるみ。	
	タイト材の劣化(寿命による硬化、ひび割れ、断裂など)。	
雨漏れしている。	シーリング材の不備や劣化など。	
	地盤の不等沈下などによる、建物と商品接合部のずれ。	
	屋根ふき材取付部、タイト材の経年劣化。	

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、まず当社に修理をご依頼ください。

## ■対象商品

アルミニウム合金製 テラス屋根・カーポート・サイクルポート

## ■保証期間

商品の施工完了日から起算して2年間

## ■保証内容

取扱説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

## ■免責事項

保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない第三者の加工、組立、施工（基礎工事、取付工事、シーリング工事など）、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食。工事中の養生不良による変色や腐食など）
- ②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ③建築躯体の変形など商品以外に起因する変色、腐食など
- ④商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗、磨耗など）や経年劣化（樹脂部品の変質、変色など）またはこれに伴うさび、かびまたはその他の不具合
- ⑤商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食などの不具合（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガス、ガス給湯器の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
- ⑥商品または部品の材料特性に伴う現象
- ⑦天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災、津波、噴火など）による不具合またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑧実用化されている技術では予測することが不可能な現象またはこれが起因で生じた不具合
- ⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物またはつるや根などの植物に起因する不具合
- ⑩引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑪お客様自身の組立、取付、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合
- ⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

.....  
\* 保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

\* 本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社にお問合せください。

\* この商品保証は日本国内においてのみ適用されるものとし、日本国外に納入される商品については適用しないものとします。

# 保証書

保証期間	商品の施工完了日から起算して2年間
商品名	
商品記号	
施工完了日	年 月 日
販売店名	

長期間、商品をご使用になりますと、不具合が発生することがあります。そのままにしておきますと人身事故や家財の損害などの原因になります。対処方法が本説明書に掲載されていない不具合が発生した場合は、ご自分で修理せず、まず当社にご相談ください。

■修理依頼のご連絡にあたっては、次のことをご知らせください。

- お客様のお名前
- お客様のご住所
- お客様のお電話番号
- 商品名
- 商品記号
- お引き渡し日
- 破損箇所や不具合状態

メモ

---

---

---

---

---